

若手経営者・専門アドバイザーへの 意見聴取の概要

若手経営者

①事前説明・ブレスト

基幹産業（機械・繊維・食品・I T）の若手経営者とともに、
今後10年を見据えた際の、**業界・会社の課題感、取り組みたいこと、
行政に求めることなどについてブレストを実施**

▶ 若手経営者

30～50代前半の企業経営に携わる方

▶ 事前説明・ブレスト（リアル・オンラインハイブリット開催）

（機械）令和4年12月26日（月）

（繊維）令和4年12月26日（月）

（食品）令和4年12月22日（木）

（I T）令和4年12月16日（金）

②オンラインフォーマットへの共同書き込み

ブレストを踏まえ、共同での書き込みが可能なオンラインツールを活用し、
オンライン上のフォーマット（SWOTベース）に自由に意見を書き込み

▶ オンラインフォーマットへの共同書き込み

12月中旬～1月上旬

専門アドバイザー

専門性の高い分野について有識者から**対面で意見聴取**

【参考】名簿（若手経営者）

機械

氏名	企業名	役職
明石 隆史	(株)明石合銅	代表取締役専務
新家 啓史	大同工業(株)	代表取締役社長
柿木 貴子	馬場化学工業(株)	専務取締役
小林 靖弘	(株)小林製作所	専務取締役
塩谷 栄治	石川可鍛製鉄(株)	代表取締役社長
高松 宗一郎	高松機械工業(株)	代表取締役社長
土肥 憲太	土肥研磨工業(株)	専務取締役
中川 幾美子	(株)中川鉄工所	代表取締役社長
山口 真輝	(株)共和工業所	代表取締役社長
山本 伊智郎	(株)サンエー精機	代表取締役

繊維

氏名	企業名	役職
荒木 重晶	(株)オリジナークラシカガード	代表取締役社長
大宮 英嗣	(株)ムツミテキスタイル	専務取締役
梶 政隆	カジナイロン(株)	代表取締役社長
中山 大輔	小松マテーレ(株)	専務取締役
羽部 敏徳	丸羽経編(株)	代表取締役社長
宮本 智行	丸井織物(株)	常務取締役

食品

氏名	企業名	役職
數馬 嘉一郎	(株)数馬酒造	代表取締役
小出 清隆	(株)柴舟小出	代表取締役社長
志賀 嘉子	(株)ウフフ	代表取締役
四十万谷 正和	(株)四十萬谷本舗	専務取締役
須田 一喜	(株)オハラ	代表取締役社長
関谷 由憲	有限会社大根音松商店	代表取締役社長
高崎 憲親	北陸製菓(株)	代表取締役社長
田端 葉月	赤玉(株)	専務

IT

氏名	企業名	役職
金井 洋一	(株)PFU	執行役員副社長
木屋 満晶	(株)シーピーユー	代表取締役
小西 広恭	(株)Asian Bridge	代表取締役
志倉 喜幸	(株)ハイレゾ	代表取締役
福島 健一郎	アイパブリッシング(株)	代表取締役
福永 泰男	サイバーステーション(株)	代表取締役社長
本造 雅美	(株)ユニークポジション	代表取締役
三谷 忠照	三谷産業(株)	代表取締役社長
山本 雄貴	(株)ドローンショー	代表取締役
横山 信太郎	(株)横山商会	代表取締役社長

※敬称略・五十音順

【参考】名簿（専門アドバイザー）

分野	名前	会社名/機関名 肩書	分野
グリーン	鶴沢 潔	金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター 所長	炭素繊維など複合材料
	木下 敦史	東レ北陸支店 支店長	サステナビリティ・グリーンイノベーション
	杉山 正和	東京大学先端科学技術研究センター 所長	次世代エネルギー、研究開発
人材	岡本 祥治	(株)みらいワークス 代表取締役社長	副業・兼業の推進
	夏至 正典	(株)人材情報センター 代表取締役社長	人材確保・育成
	山岸 晋作	(株)山岸製作所 代表取締役	働き方改革の実践・提案
研究開発・ スタート アップ	石澤 敏洋	(株)リバナス 地域開発事業部 部長	スタートアップ発掘
	上町 達也	雪花(株) 代表取締役	ものづくり×先端技術
	小林 和樹	(株)Kanazawa Diamond 代表取締役	学生起業家
	永井 由佳里	北陸先端科学技術大学院大学 副学長	イノベーション・デザイン思考
	松本 邦夫	金沢大学 副学長	スタートアップ支援
国内販路	石野 晴紀	(株)石野製作所 代表取締役社長	国内展開/ニッチトップ
	大野 尚弘	金沢学院大学 教授（経営学科長）	マーケティング・流通（ECなど）
	軽部 英俊	(株)六星 代表取締役社長	国内展開/6次産業化/ブランディング
国際展開	大砂 雅子	金沢工業大学 産学連携室 教授	国際展開
	竹中 俊介	山中漆器連合共同組合 理事長	国際展開・デジタルマーケティング
	山本 晴一	(株)ヤマト醤油味噌 代表取締役社長	国際展開・食文化
事業基盤 (承継等)	木村 岳二	石川県事業承継研究会 代表	承継支援
	西中 浩一	よろず支援拠点 チーフコーディネーター	承継支援
企業誘致	岩田 誠	石川サンケン(株) 代表取締役社長	半導体製造（工場立地）
	高岡 一敏	SCSKニアシオアシテムズ(株) システム開発第二事業本部 本部長	システム開発（オフィス立地）

※敬称略・五十音順

主な意見（デジタル）

若手経営者

デジタル人材育成・活用、サイバーセキュリティ対策、デジタル化しないことの価値の明確化

- ・石川県内企業の社内でデジタル人材へのリスキリングを促進するため、**リスキリングに必要な経費（研修プログラム）の補助**（IT）
- ・デジタル人材を育成する**スマートS Eの継続と更なる充実**、自動化についても、**ロボット（自動化）人材を育成**するための同様のプログラムがあると良い。（機械）
- ・**デジタル人材は社内に置きたいが人件費が高すぎる**。プログラムなどは遠隔などでコストが安い海外人材の活用をすべき。**デジタル教育を徹底したいが社内に対応できない**現状がある。社内デジタル人材不足により**EC販売が伸ばせない**課題が大きい（繊維）
- ・事業と直結ができないデジタル教育をしても意味はない。**事業化につながるデジタル教育**を念頭に（繊維）
- ・デジタル補助金等が充実しているが必要だと感じている人しか活用できないため、必要性を感じていない人へのアプローチ。**全体で取り組まなければ効率化にはつながらない**（食品）
- ・**経営者がトップに立ってデジタルを活用**して様々なムダを排除すれば生産性が向上する（機械）
- ・**サイバーセキュリティ対策を個社で行うには限界**がある（機械）
- ・**セキュリティ対策、ソフトやハードの更新などコスト増**。セキュリティ対策は100%の安心はない。（機械）
- ・デジタル、AIによる自動化、デジタルデバイドが進み、**商売から人情味が消え去る恐れ**（IT）
- ・**自動化されないことの価値**があがる（機械）

新たなビジネスモデルの構築、図面や生地などのデジタルアーカイブ、産地間情報プラットフォームなど

- ・機械業界の共通言語である**図面のデジタル化**、3D図面による調達の普及。そのための図面の書き方のルールの一貫化（機械）
- ・生産性の大幅な向上や販売促進でのデジタル化の徹底。**生地のデータ化などデジタル化**したほうが今後優位性が増す。**繊維産地間で情報共有できるデジタルプラットフォーム**があれば面白い（繊維）
- ・自治体のサイズが実証実験がしやすい規模感であることと魅力的な文化資産がある地域であることを活かして、**地方創生と先進テクノロジーを掛け合わせた本格的なデジタルプロジェクト**を立ち上げ、推進。大きなデジタルプロジェクトを推進することで、そこにデジタル人材・企業が集まることを狙う。（IT）
- ・売買が発生する小売に疎結合できるデジタル基盤を構築し、**リアルタイムの消費に関係するデータ把握と活用**(IT)
- ・金沢城跡地における**金沢城のAR化**（機械）

主な意見（グリーン）

若手経営者

副産物の県内での資源循環

- ・発生した資源（鉄屑など）は県外又は海外へ売っている。輸送でのCo2排出やコスト（運賃）を考えると、**近県で循環ができる仕組み**が欲しい（機械）
- ・**食品ロス削減**のためにパートナーとなりうる企業が一覧となっていると助かる。（食品）

設備導入、環境に関する国際認証取得の必要性

- ・大きな省エネを実現するためには、**古い建屋や生産ラインの更新など大きな設備投資が必要不可欠**であるため、省エネ投資に対する助成制度の拡充をお願いしたい。（機械）
- ・環境への取り組みは欧米ユーザーへのサプライチェーンに組み込まれるには絶対的に必要な事。**海外認証は必要不可欠**（繊維）
- ・グリーン化への費用は**認証取得**やその**ランニング費用**、**再生可能エネルギー設備の設置など高額な費用**が掛かり、その助成が大きければ導入により積極的になれる（繊維）

GXに関する普及啓発

- ・ほとんどの経営者が**グリーンに対して関心が低い**。経営者向けに強い認知活動が必要。**グリーン関連の経営者向けセミナー**を実施してほしい（機械）

専門アドバイザー

新技術開発・新事業展開

- ・ものづくり技術の重要度が増す。県には、個別支援に偏重せず、優れた研究環境を持つ県内大学と工業試験場が連携し、**県内企業全体を支えられる仕組みづくり**を期待する。
- ・脱炭素のトレーサビリティ管理はより強化される方向。大小問わず、製造パートナーは脱炭素の取組が評価される。行政には**意識醸成**や**具体的な指導**を期待。
- ・企業が技術開発に取り組む環境を整えるため、**カーボンニュートラルへの取組に対する経営者の機運醸成や資金補助**を行ってはどうか。企業は成長のチャンスとして捉え、プラス思考で取り組むことが必要

主な意見（人材）

若手経営者

学生・UIターンの県内就職

- ・石川県で勉強した優秀な学生が県外に流れないような仕組みづくりが必要（機械）
- ・全国の学生向けに、石川県で働くことの魅力についてプロモーションする（IT）
- ・県内外の学生が石川で就活した際の奨学金補助を実施する（IT）
- ・学生に企業を知ってもらう体験講座の開講、部活動や夏休みのワークショップとして開講（機械）
- ・小学生、中学生に地元の色んな企業を知ってもらう機会があるといい（機械）
- ・UIターン希望者や現在働いていない人は、免許が無かったり運転した人が多いため、公共交通機関の拡充が今後の労働人口を増やすためには重要になる（機械）
- ・県内製造業全体の就職人気がない。単純労働か何かと勘違いしているのではないか。イメージが悪い。知的でかつ働きやすい産業であることなど、業界全体でのPR強化が必要ではないか。（機械）
- ・最近の優秀な人材流出が顕著。人材紹介会社が活発化。繊維業界のイメージや将来性の悪さで人気が無い業界となっている傾向がある。製造現場に入社してくれる人が募集しても来ない。（繊維）

副業・兼業人材の活用

- ・地域の中小企業が、専門人材や第一線級の人材を雇用することは、金銭的にも仕事内容的にも非常に難しいが、知見が活用できたり、彼らのレベル感や視座に触れながら仕事ができる。優秀な人材の力を活用して事業を輝かせる、新たな戦い方ができる。副業人材の活用を推進すべき（食品）

女性・高齢者の活躍

- ・県内で働く人の介護負担を軽減、介護に問題を抱える家庭が移住しやすい制度づくり（機械）
- ・シルバー人材や障害者、フルタイムが不可な主婦等、多種多様な人が働きやすい環境や制度の整備を行ない、どのように活躍しているかを企業間で情報共有できればいい（機械）

主な意見（人材）

若手経営者

外国人材の活躍

- ・外国人研修生にとって過ごしやすい街づくり。公共交通機関、公共施設の利用推進など（機械）
- ・安い労働力としてだけでなく、エンジニアや管理者候補として、外国人人材を採用することも検討が必要（日本人と同じ条件で）（機械）

企業ニーズに対応したリスキリング

- ・時代変化が速くなっており、産と学のタイムギャップが大きくなってきている。学の中で中長期での企業の問題課題解決の取り組みを単位化する仕組みを実現(IT)

専門アドバイザー

副業人材の活用

- ・労働人口減少が進む中で、企業では雇用人材確保と併せて副業人材の活用が拡大する。行政として、副業人材活用の事業化等により中小企業の活用の敷居を低くする土壌を育み、地域での成約・成功事例の創出と発信を行い、さらには地域で自走化する環境を作ることが大切である。

地元定着・移住定住（付加価値向上による待遇改善）

- ・住みよさは若者にとって地元定着の衛生要因であって動機づけとはならない。長期間の粘り強い人材育成や、付加価値の向上による大都市圏との待遇差を埋めることが地元定着と移住定住促進につながる。

多様な働き方の推進

- ・石川県は他県と比較して魅力的。唯一残念なのは多様な働き方が進んでいない点。もっと県内の多くの企業が働く場所や時間を柔軟にしていけることが出来れば、優秀な人材や新たな労働力の誘因、創出にも繋がり、県内産業の成長に繋がるという好循環が出来ると思う。

主な意見（研究開発）

若手経営者

新事業創出、研究開発助成

- ・**自動化及び省人化**は機器選定だけでなくレイアウト/物流動線など**様々な知見や経験が必要**なので**ワンストップでノウハウを蓄積できる研究機関**を立ち上げて欲しい。**困りごとを県内企業や有識者が共同で解決**していくことで大きなビジネスチャンスが生まれる可能性があるのではないか（機械）
- ・県内におけるITの語意がハード系に偏っており、リスクも飲み込んで**ソフトウェアの新規事業創出、機能更改に対する減税や助成金等の支援を強化**する（IT）

実験・実証場所の確保

- ・ハードウェア・ソフトウェアだけではなく、**実証実験やマーケティング調査等も補助対象**としたらどうか（IT）
- ・飲食店営業許可を取得した試作場所などの**レンタルスペース**が欲しい。（食品）
- ・基本的な機械が一式ある、**試作開発できるようなラボ**が大学や工業試験場にあつたらいい（機械）

産学連携の推進

- ・**地場大学と地場企業の共同研究に対する助成**（機械）
- ・**産学連携のプログラム**を拡充してもらいたい（機械）
- ・北陸3県の工業試験場の施設や機器を**相互に利活用できる環境**を構築してほしい（機械）

専門アドバイザー

市場ニーズに対応するための伴走支援、文化価値の創出に繋がるエコシステムの形成

- ・市場ニーズが多様化に対応していくためには、各企業が自社の強み・魅力を再構築して、**市場や連携する事業者とのマッチング、人材育成**を図っていく必要があるが、これには、次の戦い方を見据えたビジョンやプランを定めることが重要であり、**伴走的な支援が必要**となってくるのではないかと。
- ・県の強みとして、豊富な地域資源を挙げているが、地域資源は活用して初めて文化価値を生み出すものなので、**文化価値の創出に繋がるエコシステムの形成**を進める必要。県外人材の活用については、県の有する地域資源から**県外人材が文化価値を創出し、その成果が県外流失する可能性に留意**すべき。

主な意見（スタートアップ）

若手経営者

スタートアップの発掘や成長を促す仕組み（エコシステム）等

- ・高校生や中学生などが**起業に触れる機会**がもっとたくさんあればいいと思う。（食品）
- ・**大学発スタートアップ**を促進させるプログラムを作っていたきたい（機械）
- ・スタートアップが生まれやすい**特長的な誘致条件**を確立していただきたい（機械）
- ・**県外のスタートアップ、ベンチャー企業を誘致**。そのためにもまず街の良さを体験してもらうために**2泊3日以上**の石川体験を企画、実施する（IT）
- ・**市場購買ニーズがある事業を事前に調査、募集し、スタートアップ希望者に結びつける仕組み**（IT）
- ・スタートアップを成長させるために**資金的な支援に加え、機会（実証フィールド）**も作って欲しい（IT）
- ・中小企業の既存経営者は高齢化し、新たな視点・見解が非常に弱く、なかなか新ビジネスを理解できず、若手を抑えがちで、経営資源も大きくはることがない。中小企業を対象にした**新事業スピンアウトベンチャーに対するインセンティブ**を高める制度はどうだろうか。（機械）

専門アドバイザー

スタートアップの段階に応じた支援、中高生など早い段階からのアントレプレナーシップ向上

- ・スタートアップを創出する土壌は整っており、各取組を連携させることが重要。特に大学発スタートアップは、**産学官金が一体となった環境の整備**が必要。スタートアップと中小企業の双方にメリットのある形で連携し、新事業創出に向けた研究や実証等を進めていくことが望ましい。
- ・大学には研究者はいるが経営者は少ないため、**経営者と研究者とマッチングをする仕組み**があると良い。事業化前段階は、VCからの資金調達につなげるための**研究開発を推進する補助金、資金調達や組織構築など相談できるコミュニティ**。事業推進の際は、**知的財産等の専門家からの伴走支援**があるといい。
- ・チャレンジする精神を養うため中高生などの早い段階から**アントレプレナーシップ向上**を図るべき。スタートアップ育成は、起業前後や成長初期段階において**専門家による的確な助言とファンド・補助金等の資金支援**が重要。**スタートアップが集まる場づくりや既存企業等と橋渡しする人材の役割**が重要。

主な意見（国内販路）

若手経営者

県産品の魅力・価値の発信、産業観光の充実、ポートセールス

- ・県内の更なる**観光業の発展と製造業（ものづくり企業）**が多い石川県の優位性をクロスミックスさせた**産業観光（OPEN FACTORY）**は今後大きな可能性がある。沢山の方々に**観光産業として来社いただき、企業ブランディングを推進**。これに大きな助成を求める。**産業観光**を通じ企業ブランディングを行うことで**企業の優位性が総体的に高まる**ことは、限られた**優秀な若手人材の確保**にもつながる（繊維）
- ・より企業を知ってもらうための**企業見学MAP**の作成（機械）
- ・**求める情報を細かく入力すると最適な県内企業を簡単に検索できるアプリ**を作って欲しい。（機械）
- ・2024年よりトラックドライバーに適用される時間外労働条件や長距離ドライバーの減少など**県外への輸送が今後課題**。**金沢港からも九州への定期航路を構築**していただきたい。（機械）
- ・展示会には**毎年同じ企業が参加**されるため新しい開拓につながりにくいように感じる。（食品）
- ・生き残り・勝ち残りをかけて志を一にする**企業集団を形成**すること、**県内のみならず産地が一体となって国内外に向かっていくこと**が過去、そして今後も求められている（繊維）

専門アドバイザー

知財・海外販路など企業の課題に応える支援の強化

- ・事業を維持・拡大させていくためには、**知財や海外販路といった高度に専門的な知識**が必要。それぞれの企業の課題に**オーダーメイドで答えていけるようなソフト面の支援強化**が望ましい。

ECなどインターネット上でのマーケティング

- ・インターネット通販は確実に広まりを見せており、今後も継続していく。E Cを活用した販路開拓は、単に商品を掲載すれば売れるようなものではなく、S N Sなどインターネット上でのマーケティングが重要。**マーケティングの重要性や手法を学ぶ機会の提供**や、**事業化につながるような体系的な施策**が必要。

観光誘客による各産業への効果波及、北陸連携によるブランディング

- ・**観光をフックにして、各産業への効果波及を狙う戦略が有効**。来県時にモノ・コトを確実に届けることで効果的・効率的な販促につながるのではないかと。特別な体験でファンを生み出し、コミュニティの形成につながっていく可能性がある。農産物・加工品に関しては、**異なる特色を持つ北陸3県で連携したブランディング**の考え方も有効。

主な意見（海外販路）

若手経営者

国際展開サポートの充実（海外共同営業、現地FS等）

- ・ **JAPAN QUALITY**の優位性。オリジナル素材を提案したい（繊維）
- ・ 国内顧客に鍛えられた高い品質と生産性に加え、**円安を追い風に**、海外への販路開拓に力を入れていきたい。
海外展示会の出展費用やFS（現地調査）に対する助成があると助かる。（機械）
- ・ 円安による原材料の高等2年前の2～3倍、優秀な人材不足、国内輸送の運送費上昇1.5倍、梱包資材等の値上げ、海外との商売なので、これらの**価格転化ができない**（繊維）
- ・ **欧州、北米に対する共同営業機会の提供**。（機械）
- ・ 輸出先の添加物規制など、具体的な商品について聞ける場所がない。当社の商品の場合、といった**ピンポイントな質問に答えていただける場所**が欲しい。国ごとにどういうものが適しているかなどのアドバイスが欲しい。自社単体では配送コストが膨らむためコンテナ単位で輸出している企業と知り合いたい。（食品）

専門アドバイザー

海外市場の把握、ブランディング、バイヤー開拓、個社支援の充実

- ・ 国内で余剰があるうえに、海外のマーケットニーズに合わせたモノこそが、海外へ輸出できるのが基本。**生産性の向上や、海外の市場情報を常に確認することが重要**。モノの輸出もよいが、今後は、**介護ビジネス、日本の農産品・食品製造等ノウハウの海外展開**も大きな可能性を秘めている。
- ・ 今後はデジタルを活用し、商流の変化にも対応していくことが重要。そのためにも**ブランディング**は必須。DXとカーボンニュートラルに対する取り組みは間違いなく進んでいく。国際展開はグループで取り組んでも埒が明かない。
やる気のある個社のやりたいことを支援する方が効率的かつ効果的。
- ・ 海外市場において、国内外のメーカーとの激しい競争に打ち克っていくためには、商品を唯一のモノとして認めてもらえるような「マーケティングストーリー」が必須であり、**価格以外の価値も考慮に入れて判断してくれる相手先を見つけることが重要**。

主な意見（事業基盤（承継等））

若手経営者

円滑な事業承継支援、設備・人の他社への引継支援

- ・事業承継者がいない経営者と事業経営に興味のある個人（例えば、大手企業のOBなど）とを結ぶ仕組みがあると良い（そんな取組があったかとも思うが）（機械）
- ・スピンアウトベンチャーの優遇措置。後継者に対して別法人格を用意して好き勝手に近隣業態で経営してもらい経験を積ませて事業継承に備える（機械）
- ・事業を引き継ぎつつ、変化を起こして新たな価値を生み出そうとする後継者や若手経営者の後押しをする施策。例えば、「デザイナーを絡めたリブランディング」に関する支援。引き継いだ事業を用いてこれからの世の中にどんな価値を提供していくか。次世代経営者の内面を掘り下げながら形作り、デザインとして落とし込んでいく。そのプロセスを経て各自の事業が輝けば、地域はより面白くなる（食品）
- ・零細企業が多い協力企業の経営者の高齢化、後継者難による廃業が心配される。廃業が決まると、内製化する必要がでてくる。M&Aではなく、設備や人の引継などに対して助成があると良い。（機械）

急激なエネルギー高騰への救済策、企業・産地共同での共同調達

- ・材料費の高騰により大変苦しんでいる。このトレンドはじわじわと長期に悪化し、慢性化していきだろう。国際的な紛争などで短期的に価格が跳ね上がり、しばらくしたら落ち着き、を頻繁に繰り返す。その頻度が上がることが想定。少量品に対して材料費値上がり分の価格転嫁を交渉していくのは大変難しい。エネルギー・材料費が短期・急激に上がった時の救済策、もしくは企業・業界団体等で基本・普遍的な資材・材料に限り共同購買や交渉する等の仕組みを作ると良い。（機械）

専門アドバイザー

事業承継の重要性の発信、M&Aの主体となる中堅・中小企業の育成

- ・事業承継の重要性を認識しているものの、自分ごとに置き換えて考えることができている経営者が多い。このままの状態を放置して、人知れず事業をたたむ事案が相次いでしまえば、将来の地域経済にとって大きなマイナス。行政等が中心となってリーダーシップをとり、経営者が事業承継を具体的に検討するよう、もっと積極的にメッセージを発信してもいいのではないか。
- ・地域経済の持続的な成長のためには、企業の適切な新陳代謝は必要と考える。他方、地域社会や県民生活にとって必要で、成長性・収益性のある事業をつないでいくためには、第三者承継（M&A）を増やしていくことは必要。その主な担い手となる中核的な中小企業や中堅企業の育成を戦略的に後押ししてもいいのではないか。

主な意見（企業誘致）

若手経営者

立地の優位性を活かした競争力の高い企業の誘致、金沢・他地域もからめた広域誘致など

- ・大手企業はリモートワークが進み働く場所の自由度が高まるため、石川のような大学との連携ができて技術人材の確保に適した場所に地方拠点を持つことのメリットを感じる。立地の優位性を活かして**大手企業にフォーカスした企業誘致の補助制度を他県を圧倒するレベルで拡充**。大手企業の拠点が設けられれば社内での異動で技術者が流入し税金が増え、社会インフラのレベル向上。更に魅力が高まり企業誘致が進む。**継続的に誘致して人材（特に技術人材）を引き込むこと**ができるかがポイント（IT）
- ・農業や林業、水産業など**一次産業に競争力を持つ企業を誘致**することで県内産業の生産性と新たな品種開発を促進するとともに子供達、県外移住者にとって魅力ある地域になるのではないかと（機械）
- ・利便性の高い**金沢近辺に石川での本拠地**を持たせ、そこを足場に**加賀・能登方面にある産業用地へ工場やデータセンターなど広い拠点を誘致**する。（IT）

時代に即した誘致・制度の在り方

- ・有効求人倍率が高い石川県に**大手企業は誘致してほしくない**。人材流出が進む可能性がある。一方、**シナジーがある企業には是非来てほしい**。（繊維）
- ・地元の川下企業への波及効果のある企業誘致は賛成だが、そうでない場合、**人材不足が加速するだけ**の企業誘致に地元企業にはありえないような補助金を投入するのは疑問が残る。（機械）

専門アドバイザー

誘致企業へのフォローアップ

- ・現在、**人材確保が喫緊の課題**である。企業としては労働環境の改善・福利厚生充実といった努力はもとより、**外国人材の活用が必須**と考えている。若い人が地元で愛着を感じるよう、**市町の垣根を超えて地域全体の魅力向上、発信**に努めていただきたい。また、DXや省力化の推進といった**企業の取組・投資に対しても支援**をお願いしたい。
- ・誘致企業は地元での知名度を高めていくことが課題と感じている。今後は、地場企業と協業し、都市部の仕事を受けていくためにも、**地場企業との交流の機会**があるとありがたい。